



環境省

優先検討課題に関する グリーンリストの改訂の方向性について

2024年12月17日

環境省 大臣官房 環境経済課 環境金融推進室

第4回WGの議論を踏まえた 検討方針及び論点について

今年度の検討の進め方

- 昨年度WG及び第4回WGでの議論を踏まえ、特に優先的に検討すべき課題（優先課題）を中心に改訂に向けた議論を進める。

＜主な検討課題と優先課題＞ ※赤字：優先課題

主な検討課題

検討課題①：新規策定又は改訂が行われた国内計画等に基づいた資金使途例等の拡充

検討課題②：ヒアリング・発行事例等に基づいた資金使途例の拡充

検討課題③：グリーンプロジェクトに寄与する事業の考え方

検討課題④：各大分類に関する法令・計画・制度・基準等に関する考え方の整理

検討課題⑤：研究開発の対象や考え方

検討課題⑥：国際的なガイダンス等との関係性の整理

検討課題⑦：資源循環に関する小分類の更なる整理

検討課題⑧：ネガティブな環境効果の更なる整理・充実化

優先課題として
検討・整理を実施

※優先課題は優先度及び想定される検討作業量も踏まえて選定

※記載順は必ずしも優先順位を示すものではなく、また、今年度優先課題としない課題についても継続的に動向調査等は実施

検討課題①【優先課題】

新規策定又は改訂が行われた国内計画等に基づいた資金使途例等の拡充

検討方針

- 昨年度のグリーンリストの改訂以後に、新規策定又は改訂が行われた環境分野の国内計画等を踏まえて、追記・修正を検討する。

主な論点

- 昨年度のグリーンリストの改訂以後に新規策定又は改訂が行われた環境分野の国内計画等として以下が挙げられる。これらを踏まえ、グリーンリストの追記・修正を検討すべき内容はあるか。ある場合、どのような追記・修正が適切か。なお、環境分野以外の国内計画等を踏まえた追記・修正については、他省庁への照会等を踏まえて検討する（検討課題②参照。）。

今年度の調査対象

- 「第六次環境基本計画」（2024年5月閣議決定）
 - 「第五次循環型社会形成推進基本計画」（2024年8月閣議決定）
 - 「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」環境省、農林水産省、経済産業省、国土交通省（2024年3月公表）
 - 「水循環基本計画」（2024年8月閣議決定）
- 資金調達者の潜在的な需要を喚起するため、国内計画等を踏まえ、資金使途の記載等の追記・修正が必要な箇所はあるか。

検討課題②【優先課題】 ヒアリング・発行事例等に基づいた資金使途例の拡充

検討方針

- ヒアリング（関係省庁への照会を含む）や発行事例の調査等を行い、政策動向や資金需要を踏まえた資金使途例の拡充を行う。

主な論点

- ヒアリング（関係省庁への照会を含む）や発行事例の調査を通じて得られた資金使途例に関して、グリーンリストに追記・修正すべき資金使途例はあるか。ある場合、どのような追記・修正が必要か。
- 今後、追加的にヒアリング・発行事例の調査を行うべき内容はあるか。

参考：昨年度WGや前回WGで挙げられた個別の資金使途例の拡充に関する論点（例）

農林水産業の省エネ・脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> みどりの食料システム戦略では、農林業機械・漁船の電化、化石燃料を使用しない園芸施設などが掲げられている。こうした農林水産業の省エネ・脱炭素化に係る事業を明確化してはどうか。
バイオディーゼル	<ul style="list-style-type: none"> 小分類6-1には陸運・空運で実際に動くもの（電動車など）が記載されており、小分類9-2にはSAF（持続可能な航空燃料）があるが、記載がないものの商用化されているバイオディーゼル等については記載の検討が必要ではないか。
空輸のグリーン化	<ul style="list-style-type: none"> 空輸のグリーン化に関する事業が該当する小分類の新設が必要ではないか。
農業用水	<ul style="list-style-type: none"> 小分類7-5の「サプライチェーン全体で水供給を削減する水効率技術・設備・水管理活動」は、他の小分類と比べて具体がわかりづらい。農業用水について明示的に記載してはどうか。
技術進展が速い資金使途	<ul style="list-style-type: none"> グリーンビル、省エネ、自動車関連など技術の進展が早い資金使途については、現行の記載について妥当性の確認が必要ではないか。
自然資本	<ul style="list-style-type: none"> 河川、水資源（Water positive）、建設などの分野でネイチャーポジティブへの関心が高まっており、関連する資金使途を確認してはどうか。

検討課題③【優先課題】 グリーンプロジェクトに寄与する事業の考え方の整理

検討方針

- グリーンファイナンス市場においてグリーンプロジェクトに寄与する事業の資金調達を促進することは、脱炭素をはじめとする環境課題の解決を加速化するために重要。
- 本年6月にICMAより「Green Enabling Projects Guidance」（以下「GEPガイダンス」という）が発表されたところ、適切な市場の発展に向けては、同ガイダンスも参考としつつ、対象事業の範囲や透明性を確保するための方策について考え方を整理をしていくとともに、国内ガイドライン等への反映方法や反映時期について検討を行う。

主な論点

- GEPガイダンスを踏まえ、評価項目への適合性をどのように捉えるべきか。また同ガイダンスを踏まえて評価する際の課題は何か。加えて、日本の現状を踏まえた際にどのような点に留意が必要か。
- GEPガイダンスに関する検討が国際的に継続されている中、本WGでどのような対応を行っていくべきか。

検討課題④【優先課題】 各大分類に関する法令・計画・制度・基準等の整理

検討方針

- いくつかの小分類をケーススタディとして、関係する法令・計画・制度・基準等（※）を調査し、参照し得る情報の整理を行う。

※法律、施行令、施行規則、告示、戦略、計画、方針、指針、ガイドライン、手引き 等

主な論点

- 試行的に行った整理作業を踏まえて、実際にどのように整理・提示していくべきか。
- 優先的に整理すべき分野とはどこか。
- グリーンリストを利用する者が実際に必要とする参考情報とは何か。

＜作業にあたっての論点＞

- (A) 参考となる基準は法令のみを対象とするのか、補助金・民間認証なども含めるか
- (B) 参考となる数値基準がないものをどのように扱うか
(数値基準を優先的に扱っているが、数値基準がないものは、定性的な基準として参考となる法令等を含めるか)
- (C) 参考となる数値基準が多数ある／値に幅がある場合（トップランナー基準、最低基準等）、どのように記載するか

今年度の改訂スケジュール

今年度の改訂スケジュール（案）

- 意見募集（パブリックコメント）については、グリーンリスト改訂（案）を取りまとめた後、一定期間実施する方針に変更。

<改訂スケジュール（案）>

開催時期	実施項目	実施概要
本日 2024年9月	第4回WG	<ul style="list-style-type: none"> 今年度改訂の方向性について
⋮	WG間の検討①	<ul style="list-style-type: none"> 事務局にて文献情報の収集・整理、改訂方針の検討を実施 ヒアリング調査（Green Enabling Projects Guidanceに関する専門家ヒアリング）
2024年 本日	第5回WG	<ul style="list-style-type: none"> 優先課題に関するグリーンリストの改訂方針（案）について
⋮	WG間の検討②	<ul style="list-style-type: none"> 事務局にて追加情報の収集・整理、グリーンリスト改訂（案）の検討を実施
2025年 2月頃	第6回WG	<ul style="list-style-type: none"> グリーンリストの改訂（案）について
2025年 3月頃	検討会への報告	<ul style="list-style-type: none"> グリーンファイナンスに関する検討会への報告
2025年4月 以降	パブリックコメント ・改訂案の公表	<ul style="list-style-type: none"> グリーンリスト改訂（案）をもってパブリックコメントを実施 パブリックコメントを踏まえたグリーンリストの改訂・公表